参考：第１９回会議資料

中小企業振興会議の今後の進め方について

現状

期間　：１年サイクル

進め方：２月 テーマ決め → 事前意見集約→6月 審議 → 審議内容集約→10月 施策の方向性提案

【現在の課題と原因】

課題	原因
議論が収束せず、 結論の具体性に欠ける	議論のテーマが抽象的で、取れる選択肢が見えづらい。
審議量が不十分	意見出し⇔施策示す の1往復のみであり、委員の情報収集の場がない。
取組結果が不明	議論が単発で終了しており、振り返りが議題化されていない。
現在の取組不明	審議テーマ以外の情報を共有していない。

➡<u>議論内容を絞り込めていない・審議に関わる情報（判断材料）が不足している状況</u>

今後の方針

【基本的な方向性】

<u>事務局において判断に資する情報（既存施策など）や選択肢を整理・共有し、委員が施策の方向性を議論・検討しやすい流れへ</u>

以下3点を会議に組み込み、**２か年かけて協議を進める。**

Ⅰ これまでの取組の進捗状況・市をはじめ国や道など行政の既存施策を示す。
Ⅱ テーマに関する情報収集・情報共有の機会を設ける。
Ⅲ 審議の際、議題を具体的に絞る（問いや論点、選択肢を提示する。）。

【令和8年度～令和9年度における進め方案】テーマ：人材確保

1年目　課題整理・方向性決定

（今回）

6月
・既存施策の情報提供
・アンケートの協力依頼

（7月）商業労政課で開催される「外国人材活用セミナー」

10月
・アンケートを踏まえた施策の選択肢の提示
（例：外国人の雇用施策、若者向けPR、DX支援、人材共有制度）

（仮）選択肢に関連した勉強会

2月
・施策の方向性を決定

２年目　具体施策化へ

２年目　具体施策化

6月
・決定した方向性に沿って、市として実施すべき施策内容を審議
（例：DX支援を優先すべき
→ 補助金 or アドバイザー派遣など）

8月
・具体的な施策案の意見交換、意見書たたき台の決定

9月
<u>振興会議としての施策案（意見書）の 協議・決定</u>
（予算への反映等を検討するため、1か月早く開催）

2月
・次年度施策の報告
・次回以降の運営協議
（諮問答申の形式も視野）